

●朝の NGO ミーティング

5日の夜に IOP と WWN から1人だけが入ることができるコンタクトグループとのミーティングが行われることになった。決議案(DR)の戦略計画(Strategic Plan)の修正が必要な箇所について参加者全員で検討した。

検討した内容：

- 政府と CSO (Civil Society Organisation = 市民社会組織 = NGO および先住民や地域住民を含む) が、双方向にコミュニケーションが取れるようにする
- ラムサール条約の中で、NGO が関わるべきポイントは、施策の策定の部分ではなく、あくまでも実行 (Implementation) の部分である
- 実行するときのパートナーとして認めてもらうよう、実行することと書かれている項目の中で IOP がある部分には、続けて CSOs を付加してもらうようにする
- DR を見て、本文の部分修正することは、全体のバランスを崩すため、今回は別添の表 (ANNEX) の部分への修正とする

5日の午前中のうちに WWN のルーズがとりまとめて、夕方の5時まで最終化して、少し事前に先方の窓口に書類を提出し、夜のミーティングで交渉することになっている。

DR の CEPA では、CSO の重要性と関与については、十分になされていること、午前中のプレナリー・セッションでも承認されるので、無理に手出しせず、戦略計画の方に注力する方針とした。



朝の NGO ミーティングの様子

●展示の改善と児童の学習見学

展示が雑然としているので、工作して見やすい展示を追求すべく、派手なラシャ紙で大見出しを作成し、会員団体の展示をわかりやすく工夫した。

また、5日から (株)アレフがプンタ入りしたので、ふゆみず田んぼ de タンゴの動画をエンドレスで流すようになったこともあり、明るい雰囲気になった。

この日は、さながらエコプロダクツ展のごとく小学生や中学生が展示ブースに環境学習にきて、田んぼの生き物シールに飛びついていた。



小学生の環境学習

●日韓 NGO 湿地フォーラム打ち合わせ

今年の2月に行われた第10回日韓 NGO 湿地フォーラムの際、今後の活動方針についてウルグアイで検討しなোসということにしていた。宮本さん、ファンインチョルさんが6日に帰国するというので、5日の夜に日韓の食事会兼打ち合わせ会を設けた。日本側からは、運営会議で出た意見を韓国側に伝え、韓国側ではそれを持ち帰って検討し、返答をするということで、8月くらいまでには整理することになった。店からホテルに帰る途中、ポツポツと雨が頬にあたり始めた。



日韓夕食会の様子



日韓夕食・フォーラムの打ち合わせ会をした店